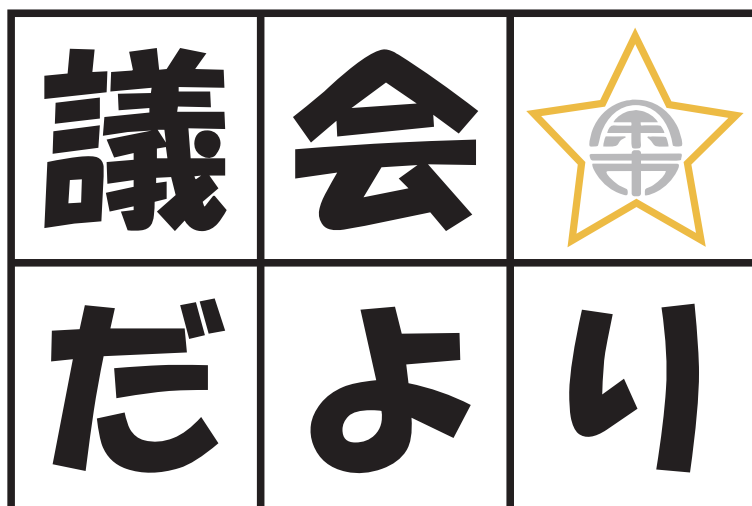


よいち町

2023.12
No.209



毛利衛名誉館長就任式・記念講演



11月4日、毛利衛さんの余市宇宙記念館名誉館長就任式が開催され、子どもたちも参加した記念講演では、「北海道の未来と地球生命のつながり」について講演が行われ、子どもたちは毛利さんの話に大変興味深く聞き入っていました

第3回定例会・第5回臨時会の審議結果

○議会懇談会を開催します P 2

- ・12月17日（日）、余市町中央公民館において、議会懇談会を開催します。

○主な審議結果 P 3～4


- ・下水道条例、水道事業給水条例の一部改正案を、それぞれ特別委員会に付託
- ・令和4年度各会計決算を特別委員会に付託
- ・国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書など4件の意見書を可決

○常任委員会の動き P 5～6

○一般質問 P 7～11

- ・9議員が町政全般について14項目を質問

議	会	懇	談	会	が
開	催	さ	れ	ま	す



**余市町議会主催
第1回
議会懇談会**


**懇談会テーマ
「開かれた議会」**
あなたが望む
議会の情報について

- **日時**
12月17日(日)
14時～15時30分
- **会場**
余市町中央公民館
3F 301・302 会議室

・参加申し込みは不要です。

お問い合わせ
議会事務局
0135-21-2132

<https://www.town.yoichi.hokkaido.jp/gikai/index.html>



これまで余市町議会では、令和元年と令和4年に、コロナ禍を挟んで計2回の議会報告会を開催してまいりました。

これまでの開催経過、さらには参加者の皆様から頂戴いたしましたご意見を踏まえ、このたび、開催内容を見直し、町民の皆様との懇談を中心に、議会報告会を改め、「議会懇談会」とし

て開催いたします。

議会懇談会の開催テーマは「開かれた議会～あなたが望む議会の情報について」としてお

ります。

当日は、初めに、議会から現状について簡単にご説明させていただいた後に、町民の皆様のご意見をいただきながら、懇談を進めてまいりたいと考えてお

ります。

年の瀬も押し迫り、何かとご多忙かとは存じますが、多数の町民の皆様のご参加をお待ちしております。

◎日	時	12月17日(日)	14時～15時30分
◎会	場	余市町中央公民館	3階 301・302 会議室
◎開催テーマ	「開かれた議会～あなたが望む議会の情報について」		

審 議 内 容

令和5年第3回定例会

第5回臨時会

令和5年9月14日～19日に開催の第3回定例会での審議結果、10月30日開催の第5回臨時会の審議結果についてお知らせいたします。

	補	正
予		
算		

一般会計

□令和5年度一般会計補正予算

(第4号)

総額2億2595万円を追加

◆主な補正内容

○寄附に伴う各種基金積立金

7672万円

○交通結節点基盤整備調査委託料

2000万円

○余市循環線運行費補助金

189万円

○新型コロナウイルス対策事業

・中小企業エネルギー価格高騰対策支援事業委託料

6350万円

・私立学校エネルギー価格高騰

対策支援事業助成金

220万円

・交通事業者エネルギー価格高騰

対策支援事業助成金

400万円

○税基幹システム改修委託料

199万円

○精算に伴う過年度障害児給付

費国道負担金返還金

561万円

○周産期医療支援事業負担金

336万円

○出産・子育て応援給付金

360万円

○予防接種委託料

1520万円

○道の駅敷地造成調査設計委託料

1000万円

○余市港船揚げ場施設修繕費

243万円

○都市計画変更業務委託料

250万円

○住宅取得等支援補助金

1108万円

○旧今邸修繕費

132万円

特別会計

□令和5年度介護保険特別会計

補正予算(第2号)

総額3813万円を追加

◆主な補正内容

・令和4年度の負担金等の精算に伴う国、北海道への返還金によるもの。

条 例 案

□余市町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営

に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案

□余市町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準

を定める条例の一部を改正する条例案

関係法令等の改正に伴い、所要の改正を行いました。

□余市町下水道事業の設置等に関する条例案

□余市町下水道条例の一部を改正する条例案

第3回定例会に提出された、余市町下水道条例の一部を改正する条例案は、余市町下水道条例審査特別委員会(山本正行委員長、寺田進副委員長、寺田進副委員長)を設置、付託し、審査を行っております。



下水道条例審査特別委員会

□余市町下水道事業給水条例の一部を改正する条例案

第3回定例会に提出された、余市町下水道事業給水条例の一部を改正する条例案は、余市町下水道事業給水条例審査特別委員会(山本正行委員長、寺田進副委員長)を設置、付託し、審査を行っております。

審 議 内 容

□余市町ふるさと応援寄附条例の一部を改正する条例案

地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）による寄附金の基金への積立てを可能とするため、所要の改正を行いました。

□令和4年度後期高齢者医療特別会計決算認定について

□令和4年度公共下水道特別会計決算認定について

第5回臨時会に提出された令和4年度の一般会計ほか4特別

決 算 認 定

□令和4年度水道事業会計決算認定について

第3回定例会に提出された令和4年度水道事業会計の決算については、令和4年度余市町水道事業会計決算特別委員会（伊藤正明委員長・土屋美奈子副委員長）を設置し、審査を行っています。

□令和4年度一般会計決算認定について

□令和4年度介護保険特別会計決算認定について

□令和4年度国民健康保険特別会計決算認定について

行 政 報 告

□広島県竹原市との交流都市提携について
【令和5年10月30日開催第5回臨時会】

広島県竹原市と余市町とは、竹原市が、本町の名誉町民でニッカウキスキーの創業者である竹鶴政孝氏の生誕の地であることと縁として、平成26年9月からNHK連続テレビ小説「マッサン」の放送をきっかけに、文化、教育、経済などの各分野における交流を通じて親交を深めてまいりました。この歴史的なゆかりを背景に積み重ねてまいりました様々な交流をより一層深めていくため、このたび「交流都市提携」を締結したところでございます。

会計の決算については、令和4年度余市町各会計決算特別委員会（土屋美奈子委員長・庄巖龍副委員長）を設置し、審査を行っています。

竹原市と余市町の近年の交流につきましては、本町の中学生による青少年派遣事業のほか、竹原市の日本酒と余市町産ワインとのコラボレーションによるふるさと納税返礼品の開発など、民間レベルでの経済交流活動が活発に進められてきたところでございます。

このような経過を踏まえ、さらなる連携強化を図るべく、令和5年10月26日、東京都墨田区のアサヒグループ本社ビル内で開催された「東京竹原会」の会場におきまして、「交流都市提携」を締結し、両自治体間において文化、教育、芸術、経済など幅広い分野にわたる交流を促進していくことを確認いたしました。

今後におきましては、これまでの交流により培われた相互理解と親善を一層深め、両自治体の振興発展につなげてまいります。

要望意見書の審議結果

第3回定例会で提出のあった意見案についてお知らせします。

件 名	議案の提出者	審議結果	意見書の提出先
国土強靱化に資する社会資本整備等に関する要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣 衆議院議長・参議院議長
ブラッドパッチ療法（硬膜外自家血注入療法）に対する適正な診療上の評価等を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	厚生労働大臣
下水サーベイランス事業の実施を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	内閣総理大臣ほか関係大臣
脱炭素と自然再興に貢献するサーキュラー・エコノミー（循環型経済）の推進を求める要望意見書	議会運営委員会委員	原案可決	経済産業大臣ほか関係大臣

※全会派の同意が得られた要望意見書は議会運営委員会の委員が提出者となっています。

常任委員会の動き

【総務産建常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

道の駅再編整備について調査を行いました。

【第2回】

(令和5年9月4日開催)

○農作物の作況について(所管事務)

今年度の農作物の作況について、リンゴ、高設イチゴ、ブドウ、トマトなどの園地を現地調査の上、生育状況について説明を受け、審議しました。

○JR余市駅周辺における交通結節点機能のあり方に関する検討について(所管事務)

バスを中心とした公共交通ネットワーク構築に向け、JR余市駅周辺エリアを周辺地域間を結ぶ交通結節点、また、後志地域公共交通ネットワークの乗換え拠点等として位置づけて整備を行う場合、JR余市駅周辺のバス停留所及びバスレーンの集約化、JR余市駅東西エリア間のアクセス向上、駐車場の確保など課題が山積しており、また、バス同士の乗り継ぎを考慮した待合施設機能の付与、コミュニティ施設や公共施設との複合化、官民連携を視野に入れた施設整備の在り方等の検討も必要なため、将来予測に基づく交通結節点機能及び拠点施設整備方針等の早急な検討を行う旨の説明を受け、審議しました。

○道の駅再編整備について(所管事務)

道の駅再編整備の今後のスケジュールについて、令和6年3月には基本協定を締結し、令和6年度から建設・外構設計業務や用地取得業務などを開始、さらに、令和7年度から敷地造成工事、建設・外構工事に着手し、令和8年度には維持管理・運営に関する業務を開始し、同年10月に供用開始を目指す旨の説明を受け、審議しました。

○地方公共団体の財政の健全化に関する法律に係る令和4年度余市町財政健全化判断比率の状況について(所管事務)

令和4年度の財政健全化判断比率(実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率)について、それぞれの比率、算出根拠等の説明を受け、審議しました。

○地方公営企業会計の適用について(所管事務)

令和6年度より地方公営企業会計に移行するに当たり、進捗状況と今後のスケジュールについて説明を受け、審議しました。

〔他の審議案件〕

○友好交流協定の締結について(報告案件)

○第55回北海ソーラン祭り実施結果について(報告案件)

○第39回味覚の祭典について(報告案件)

○余市町下水道事業の設置等に関する条例の制定について(報告案件)

○余市町下水道条例の一部改正について(報告案件)

○余市町水道事業給水条例の一部改正について(報告案件)

○用途地域の変更について(報告案件)

【第4回】

(令和5年10月17日開催)

○地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)について(所管事務)

現時点における本町の企業版ふるさと納税の取扱いとして繰越などによる運用ができないため、寄附者の意向を事業実施に十分に反映できない事態も懸念されることから、基金への積立て及びこれによる後年度事業への支出を可能とし、有効活用を図るべく所要の条例整備に向けた検討を進めている旨の説明を受け、審議しました。

○余市町除雪計画について(所管事務)

令和5年度の除雪計画について

て説明を受け、審議しました。

○下水道広域化推進総合事業について(所管事務)

進捗状況と今後のスケジュール、さらに、物価高騰による事業への影響について説明を受け、審議しました。

〔他の審議案件〕

○交流都市提携の締結について(報告案件)

○令和4年度漁業生産高について(報告案件)

○第39回味覚の祭典実施結果について(報告案件)

○令和4年度指定管理者事業報告書について(報告案件)

○余市消防署沢町出張所の今後のあり方について(報告案件)

○後志管内消防指令業務の共同化について(報告案件)



農作物の作況調査

常任委員会の動き

【民生教育常任委員会】

閉会中における各常任委員会の活動状況について、主要な調査事項などをお知らせします。各常任委員会の記録は、町立図書館に配置しておりますので、ご利用ください。

町営斎場建替事業について調査を行いました。

【第2回】

(令和5年9月5日開催)

○新型コロナウイルス感染症対策について(所管事務)

令和5年8月31日現在のワクチン接種状況、また、令和5年秋開始接種について説明を受け、さらに、令和5年5月8日から新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが5類感染症となつたことから、5類感染症移行後の俱知安保健所管内における定点把握による感染状況について説明を受け、審議しました。

○周産期医療に関する財政支援について(報告案件)

小樽協会病院では、北後志における周産期医療の安定的な維持を維持に向け、ハイリスク分娩の対応など積極的に取り組んでいることから、北後志における周産期医療の安定的な維持を図ることを目的として、小樽協会病院に対し北後志6市町村で財政支援を行っており、上限2500万円、小樽市が2000万円、その他5町村が500万円を過去5年間の平均出産数で案分しておりましたが、このたびの本町の負担額が、昨年比で3万2000円減の335万8000円となる旨の報告を受けました。

○余市町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について(報告案件)

○余市町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について(報告案件)

関係法令等の改正に伴い、所要の改正を行う旨の報告を受けました。

【他の審議案件】

○町立学校における事故報告について(報告案件)

○旧余市福原漁場防災設備改修事業に係る臨時休館について(報告案件)

【第3回】

(令和5年9月29日開催)

○令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について(所管事務)

全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること、また、児童生徒への教育指導や学習状況の改善・充実等に役立てること、さらに、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立することを目的に、小学校第6学年、中学校第3学年、合わせて213人を対象

に、小学校では国語と算数、中学校では国語と数学と英語で行われた令和5年度全国学力・学習状況調査の結果について、小学校国語は全国・全道を上回り、算数は全国を下回りましたが、全道と同等の結果になり、中学校は3教科とも全国・全道を上回る結果となつたことなどの説明を受け、審議しました。

【第4回】

(令和5年10月18日開催)

○町営斎場建替事業について(所管事務)

地質調査業務について、調査結果がおおむね判明し、町有地内5か所についてボーリング調査をしたところ、4か所から廃棄物が確認されたことから、町有地内の大部分に廃棄物が埋められていると考えられ、環境基準の分析調査を実施する予定だったが、想定を超える廃棄物が確認されたため、関係法令に基づき調査を行う場合には多額の費用がかかるため調査を中止しており、検証の結果、廃棄物の処理に多額の費用を要することが明確となつたため、都市公園予定地と現計画地の2つの候補地の比較結果を、今後町政懇談会において町民に説明した上で、

建設候補地について判断していただきたいとの説明を受け、審議しました。

○第7期余市町障がい者計画・障がい福祉計画及び第3期余市町障がい児福祉計画策定スケジュールについて(所管事務)

次期計画策定に向けたスケジュールについて、11月にアンケートを実施した後、計画案を作成し、1月中旬以降にパブリックコメントを実施する旨の説明を受け、審議しました。

○余市町高齢者ニーズ調査及び在宅介護実態調査の結果について(所管事務)

計画策定に向け65歳以上の高齢者を対象に実施した本調査について、結果の説明を受け、審議しました。

○特定健診の実施状況について(所管事務)

令和2年度、令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う健診控えなどの影響もあり、令和3年度の受診者数は令和2年度と比べ87人減少し、1.6ポイント減少の26%、道内順位も126位から148位となつた旨の説明を受け、審議しました。

一 般 質 問

第3回定例会での一般質問は、9人の議員から14件の町政全般に対する質問がありました。
一般質問は、一問一答方式により、質問、答弁を合わせ制限時間45分の範囲内で行い、議会だよりに掲載している内容の要約は質問した議員自らが要約し、その原文を掲載しています。

尾森加奈恵議員
(よいち未来)

町立学校などの施設の老朽化について

質問 尾森議員 町立の学校施設は全体的に老朽化が進んでおり、また、今年は真夏日が44日間連続し、過去最高記録を更新しているが、このような状況を踏まえ、子どもたちの学びに大切な学校施設などの環境整備について、次の事項を伺いたい。
①町立学校のクーラー設置について。
②学校のトイレが臭くて使えずに、我慢する児童生徒がいると聞くが、改善策について。
③プールは学校施設ではないが、子どもたちの授業にも影響が出る施設で、温水プールが使えなくなったことでプール授業の回数が減少したと聞くが、今後どのようにしていくのか。

答弁 前坂教育長 ①全ての教室への整備を一度に進めるには相当の財源が必要なことから、冷房設備の効率的な整備や休業日の設定などについて、来年以降も猛暑が続くことを想定し、

早急に検討します。

②令和2年度に洋式化を進め、学校全体で約7割を洋式化しましたが、臭気につきましても、現状を把握し適切に対応します。
③今後全町的な公共施設の在り方について協議が進められ、方向性が示されると考えます。

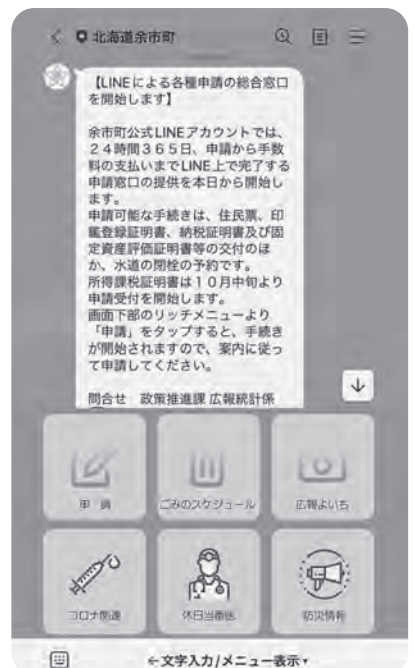
質問 尾森議員 ③温水プール再開は今のところ難しいようだが、子どもたちの学びや体験に格差が生じないように、何か対応はしないのか。

答弁 前坂教育長 ③2回から3回あったプール授業が今は基本的に1回であり、何とか増やせないか検討しています。

相談窓口の利便性

向ヒヨウシヨ

質問 尾森議員 本町には様々な相談窓口があるが、どこに相談したらよいか分からない、探すことができないなどの声があることから、相談窓口の利便性向上の取組について伺いたい。



10月から一部申請手続が可能となった余市町ライン公式アカウント

答弁 齊藤町長 随時工夫、改善を行いながら、町民の皆様が迷わず相談窓口を訪れ、スムーズな課題解決が可能となるような取組を進めます。
質問 尾森議員 ライン公式の窓口のボタンを変えると、相談窓口につながりやすくなると思うが、見解を伺いたい。
答弁 齊藤町長 今まさに公式ラインを活用した総合窓口を10月から運用できるように、利便性を向上する手続を優先して使えるよう調整しており、その中で相談窓口があってもいいと考えます。

大物 翔議員
(無会派)

公共施設における冷房設備の設置強化について

質問 大物議員 今年は北海道全体でも酷暑が続いたが、施設を暑さからの避難場所とするクーリングシェルター化も踏まえ、暑さから人々を守るための対応について、現状確認を含め次の事項を伺いたい。
①公共施設をクーリングシェルター化し、冷房設備の導入強化を行う必要性について。
②役場庁舎、図書館、学校、公民館、保育所など人の集まる場所の冷房設備の現状について。
③指定避難所となっている公共施設の冷房設備の現状について。

答弁 齊藤町長 ①冷房設備の必要性については認識していますが、一方では導入だけでなく、維持管理においても大きな財政支出を伴うことから、本町の財政状況も踏まえた上で検討します。
②現在エアコンが設置されているのは図書館の視聴覚室、保育所の年少組保育室と給食調理室、

一 般 質 問

沢町小学校のパソコン教室、一部小学校の給食調理室です。
③余市町地域防災計画において指定避難所38か所を指定しているうち冷房設備を導入している施設はありませんが、避難所における資機材用としてスポーツクーラーを4台、業務用扇風機を44台整備しています。

質問 大物議員 何か財源措置はないのか環境省に確認したところ、まだ概算要求の段階だが、補助事業を予算要求しており、脱炭素や省エネの観点から空調設備の更新等のための事業で活用し得るメニューも考えているとのこと、こういったものをどんどん活用していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 私の方針としては、自賄いをできるだけ減らして、取れる補助金は全部取っていく方針ですので、使える補助金などがあれば積極的にもちろん活用していくつもりです、公共施設、役場庁舎もこの議場もクーラーはなく、熱中症になる職員も出たりするぐらい暑くなってきましたので、その辺の強化は必要だと認識していますが、クーリングシエルトアに関して、協定が必要だったりもしますが、公共施設のみならず民間施設も指定できる

ので、常にエアコンが入っていますから、そういう町内の様々な施設を活用しながら効率的にやっていくのが必要ではないかと考えます。

白川栄美子議員 (公明党)

地域公共交通の 考え方について

質問 白川議員 地域公共交通は、余市町地域公共交通活性化協議会で進められ、今年度2か月間程度の実証運行が始まるが、次の事項を伺いたい。

- ①これまでの経過と運行に当たったの考え方について。
 - ②交通弱者も増え、病院に行っても帰りのバスがない、バス停が遠く、買物に不自由を来すなどの声が多く聞かれるが、この実態について見解を伺いたい。
- 答弁 齊藤町長 ①平成29年の設置以来19回の協議会、10回の分科会が開催され、各種アンケート調査等を実施し、住民ニーズの把握に努めながら計画を策定しており、郊外部の公共交通の実証運行については、空白地



現在運行されている余市循環線

域を3方面に区分し、予約制で自宅と町内主要施設を結ぶデマンド交通として令和6年1月から各方面週1回運行予定です。
②高齢者など交通弱者にどのような配慮が必要かも含め、住民ニーズを反映した運行形態やルートの設定、さらには公共交通としての持続可能性などもさらなる検討を進めています。

質問 白川議員 ①あくまでもデマンド交通一本で行くのか。
答弁 齊藤町長 ①基本的にはデマンド交通を第一義的に考えています。
質問 白川議員 ②高齢者はバス路線の通っていないところに走らせることを望んでいるが、そういった話は協議会では出ていないのか。
答弁 齊藤町長 ②地域のアンケートを反映した中で協議会で話をしていきますので、意見は入っていると考えますが、今循環線もそんなに乗っておらず、大幅な赤字が想定されますので、持続可能性の検証も踏まえて検討します。

質問 白川議員 ②バス代を取ってもいいので、利便性をよくしてほしいという話も聞くが、利用できる方の年齢や健康状態などに決まりはあるのか。
答弁 齊藤町長 ②各施設と利用者の自宅を運行するので、デマンドバスのほうが利便性は高いと考えており、運賃は条例に規定がまだないので実証実験の間は無料、対象年齢はなく、地域の人と想定しています。
質問 白川議員 ②人口減少、高齢者増を踏まえ改善していただきたい。
答弁 齊藤町長 ②持続可能性も含め実証実験の行方を見守ります。

寺田 進議員 (公明党)

梅川霊園の現状と本町の 今後の墓地運営について

質問 寺田議員 ①梅川霊園は令和元年に地滑りが発生し、令和3年度に恒久対策工事が行われ、安全性は確保されたとしているが、地滑りと前後して霊園内の墓石が傾くなど異常が見られ、現在も傾いた墓石が見受けられるが、今後の梅川霊園の運営について伺いたい。

②令和2年第4回定例会で、町営墓地全体で104か所の無縁墓地があり、潮見墓地も数年間未使用との答弁があったが、少子化や価値観の多様化で家族が先祖代々の墓を維持する前提は崩れつつあり、今後町営墓地は

一 般 質 問

どのように運営していくのか。

答弁 齊藤町長 ①地滑り対策

工事完了後も引き続き観測して
いますが、墓石に大きな変異は
ないと認識しており、倒壊のお
それのある墓石3件については、
2件は移転完了し、1件は協議
を進めており、引き続き墓石を
観測しながら、所有者からの問
合せには丁寧な対応に努めます。

②町外の方の墓の解体、改葬手
続が増加傾向にあり、今後は墓
地台帳を適切に管理するととも
に、無縁墓や長年未使用の潮見
墓地の管理も実態把握に努めま
す。

質問 寺田議員 ①現状を見て、

新しく梅川墓地にお墓を建てた
方は何件いるのか。

答弁 齊藤町長 ①令和4年度
はゼロ件で、返還は7件です。

質問 寺田議員 ②町内でも
様々な理由で改葬する方が増加
していると聞いており、道内で

も約30自治体で公営合同墓が運
用されているが、余市町での導
入について見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ②宗教界での

合同墓運営で対応できている部
分があるので、町としての運営
は今のところ考えていません。

質問 寺田議員 ②インターネ

ットでは余市町には20か所の合
祀墓があることになっているが

現状の余力がどのようになって
いて、また、無縁墓地について
は余力がなくなりましたからや
りましようとはならないので、
今のうちから様々なことを検討
していく価値はあると考えるが、
見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 合同墓に関し
ては宗教界があるので、やはり
墓地に余力もあるので、町とし
て合同墓を運営すると維持管理
に財源もかかり、財政がどんど
ん圧迫されるので、現状町とし
て合同墓を持つことは考えてい
ません。

山本 正行議員 (よいち未来)

西部地区の悪臭 対策について

質問 山本議員 令和4年第1
回定例会において一般質問した
際、齊藤町長は、年6回悪臭物

質の測定を実施するとともに、
悪臭の発生時には原因の調査並
びに改善指導を行っており、来
年度は一層の悪臭対策設備の改
善を行う予定と伺っていると答
弁していたが、あれから1年半

がたち、今年の夏も暑い日が続
き、8月の選挙期間中も特に西
部地区の住民からは悪臭に対す
る苦情を聞いていることから、
次の事項を伺いたい。

に基づいて業者とやり取りをし、
さらに、現地の立入検査や報告
を受けているのが法20条に該当
するが、結果として問題があれ
ば法8条で改善勧告をする流れ
になり、通常ではそこで解決す
るが、この1年半変わっておら
ず、夏を考えると窓を開けて暮
らせないことから、どうにか対
策はできないのか。

①改善指導を行っている内容に
ついて。

②一層の悪臭対策設備の改善内
容について。

答弁 齊藤町長 ①悪臭物質の
測定結果、規制基準を超過した
場合や町民からの悪臭について
の苦情が寄せられたときには事
業所に対し改善指導を行ってお
り、業者から悪臭の原因及び解
決策について回答をいただく形
式で指導しています。

答弁 齊藤町長 原因を企業で
も検証して、きちんと対策の報
告を都度受けていますが、企業
の資料を見ると様々な設備改修
に何千万円単位で予算を自らつ
けており、できる限りの対策を
していることは見てとれますが、
実際、町民からの苦情は令和3
年度1件、令和4年度1件あり、
今後も臭気対策はきちんと担当
のほうでやっていきます。

②これまで老朽化し、漏れた液
が腐敗し、臭気の原因となつて
いた原料タンクの修繕や臭気を
高温で加熱し、脱臭する臭気専
焼炉を導入するなど改善をして
おり、令和5年度には外壁と屋
根の張り替えを行い、臭気の漏
れを防ぐための悪臭対策をした
との報告を受けており、こうし
た設備改善の都度現場も確認し
ています。

質問 山本議員 タンクの修理
や屋根の修理なども含めて一層
の悪臭対策設備の改善も行って
いるとのことだが、悪臭防止法
の体系を考えると、法11条でま
ず悪臭の測定を行い、その結果

伊藤 正明議員 (明政会)

業務委託事業に係る委 託費用の算定について

質問 伊藤議員 自治体が行う

金銭の支払いが生じる契約は、
基本的には一般競争入札が前提

であって、随意契約によるのは
特別な事由により実施されてい
ると考えるが、次の事項を伺い
たい。

①随意契約をする場合の金額決
定に至るまでのフローについて。
②随意契約による場合、その経
緯、内容について、事前に議会
側に説明すべきと考えるが、見
解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ①指名委員会
にて審査、事業者選定を実施し
た後、見積書を徴求し、予定価
格の範囲内であれば契約締結と
なっています。

②議会への事前説明については、
予算委員会、決算委員会等にお
いて個別に照会いただきたく、
委託業務の契約締結に当たって
は、原則競争入札の手法を取る
ことを基本に適正に執行します。

質問 伊藤議員 業務委託事業
は随意契約によらざるを得ない
部分が発実としてあるが、そこ
に競争原理は働かないことから、
業者側からの見積りを受けて、
その金額で契約をする嫌いがあ
ると感じており、会計上の問題
や契約金額の不透明さが発生し
ていると感じることから、今後
改善していただきたいと考える
が、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 毎年随契で高
額の業務委託をしている案件も

一 般 質 問

見受けられるので、前例を踏襲しない形で精査し、安定的な業務を遂行するとともに、適正な金額に移行するよう担当課には指示していききたいと考えます。

余市町地域おこし協力隊の活動への対応について

質問 伊藤議員 広報業務支援員として着任された余市町地域おこし協力隊の方の活動について、広報に関しての提案やプレゼンテーションに対して、担当部門はどのようなアクションを起こされ、どう実行されたのか、地域おこし協力隊の方は高い志を持って、広報の関係に寄与するために来ていると考えるが、担当部門との意思疎通ができていないような感覚があるので、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 地域おこし協力隊は、町との雇用関係をあえてなくし、自分の意志で様々なことができる形にしており、協力隊と担当課の確執は聞いていませんが、私はほとんどんやっってくださいというスタンスです。で、自由に志を実際の活動に反映させていたできたいと考えます。

川内谷幸恵議員 (よいち未来)

不法投棄のゴミ対策について

質問 川内谷議員 町内のごみの不法投棄がコロナ禍以降目立つと感じるが、町の対策について、次の事項を伺いたい。
①農道方面などのポイ捨てや不法投棄の対策について。
②海水浴場から出るごみの対策について。
③仮泊中の漁船に無断乗船してごみを放置したり、釣り人のポイ捨ても多い状況だが、町と

しての対策について。

④ごみの環境問題は、子どもたちも一緒に考えることが必要と考えるが、取組について。
⑤町内外への啓発活動の強化も必要と考えるが、見解について。
答弁 齊藤町長 ①町内パトロールを随時実施し、不法投棄等の監視を行っており、悪質なものは警察にも対応を相談し、多発箇所には注意喚起の看板を設置し、再発防止を図っています。
②基本ごみの持ち帰りをお願いしており、職員や監視員による周辺のごみ拾いをしていますが、今シーズンは一部ポイ捨てがあったことから、注意喚起の看板を設置し、周知を図っています。
③不法侵入、不法投棄に当たするため、漁港管理者である北海道

警察と連携を図り、対応しますが、基本的なルールとマナーについて冊子による周知を図り、漁業に支障がある事案は看板設置等の対策を講じています。

⑤広報紙やごみ分別のパンフレットにより周知を図っているほか、町のホームページを活用することで町外の方へ発信するとともに、関係管理者と協力しながら啓発強化に努めます。
答弁 前坂教育長 ④未来を担う子どもたちが環境問題について学習し、環境保全活動に取り組むことは重要と認識しており、リサイクルや海洋資源の保全等に関する学習、海浜や道路の清掃ボランティア活動、給食の残食を減らす取組を行うなど環境問題について理解と関心を深めており、今後も質の高い環境教育に取り組みたいと考えます。

ジャストミートあたる議員 (無会派)

余市町の熊出没の現状と役場の対応について

質問 ジャストミートあたる議員 昨今熊の出没の多発に伴い、人的被害や家畜の被害が報じられているが、私は2021年9月17日に立ち会うものの、農林水産課と猟友会により事実を公表しないように指導を受けたことから、余市町では熊の出没、捕獲情報は共有されているとは言えず、聞く話では、猟友会は狩猟した熊肉を知り合いに配っているそうだが、その肉を使った料理にも公開を禁じているようであり、そこで、次の事項を伺いたい。

①余市町では年間に熊が何頭殺処分されているのか。
②一般に公表されないのは、動物愛護団体による申出が理由と農林水産課の職員は言うが、職員の保身により町民の知る権利に対し真摯に向き合っておらず、そして、各メディアで熊の出没問題が取り沙汰される中、町民に委細説明、公表するべきと考えます。



浜中・モイレ海水浴場の注意喚起の看板

一 般 質 問

えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ①令和元年度
零頭、令和2年度2頭、令和3
年度5頭、令和4年度3頭、令
和5年度1頭を駆除しています。
②ヒゲマの出没情報、捕獲情報
は新聞等により情報を公開して
います。

余市町独自の子育て 応援について

質問 ジャストミートあたる議
員 小さい子どもを背負いな
らおむつを買いに行くのは、産
後の女性からすると苦勞である
ことから、月に1度ほど定期便
で希望のサイズの商品を届ける
ことについて、トドックシステ
ムを利用した場合、利用者はチ
ェックシートに記載し、玄関
に置いておけばよいことから、
業務手数料や委託料が発生しな
いおむつ定期便を提案したいが、
見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 民間サービ
スを多くの方が活用されていると
伺っており、本町としても有効
な施策については民間と情報共
有に努めますが、来年度予算と
の関係もあるのですが、おむつ
のサブスクについてもちょうど
様々なやり方を考えているとこ

ろです。

土屋美奈子議員 (よいち未来)

自治体DXにつ いて

質問 土屋議員 余市町自治体
DXに関する全体方針について、
次の進捗状況を伺いたい。

- ①自治体情報システムの標準化。
- ②行政手続のオンライン化。
- ③AI、RPAの活用による業
務改善の推進。
- ④セキュリティ対策の徹底。
- ⑤マイナンバーカード普及促進。
- ⑥テレワークの推進。
- ⑦文書の電子化の推進及び電子
決裁の導入。
- ⑧デジタルデバイス対策。

答弁 齊藤町長 ①国の定める
標準準拠システム移行の目標時
期である令和7年度末までに完
了するよう準備を進めています。
②ライン総合窓口として住民票
の写し、印鑑証明発行、諸税及び
公課に関する証明、水道閉栓の
5業務について申請手続のオン
ライン化を実施し、その他の業
務についても適宜オンライン化



マイナンバーカードを利用する「ぴったりサービス」
(デジタル庁・マイナポータルより)

を推進します。
③生成AIの業務活用の可能性
について検討します。
④国が定める地方公共団体にお
ける情報セキュリティポリシー
に関するガイドラインに準じ
た運用を行っており、今後も対
策を徹底します。
⑤マイナンバーカードの認証機
能を利用したぴったりサービス
を活用した行政サービスを推進
します。
⑥コロナ禍を中心にテレワーク

⑦本年4月から電子決裁システ
ムを導入しています。
⑧自治体DXに関する取組につ
いて誰も残さないとの観点を踏
まえ、国が実施する講師派遣事
業等の利用も視野に入れながら
デジタルデバイドの解消に向け
検討します。

質問 土屋議員 ⑧誰一人取
残さないよう進める中で、情報
だとか経済、場所などの格差に
ついて、パソコン、スマホの恩
恵を受けられる人と受けられな
い人の格差を解消していくのが

新しい大きな課題の一つと考
えるが、見解を伺いたい。

答弁 齊藤町長 ⑧デジタルに
不慣れな方に関しては、DXの
進展によって職員に余力が生ま
れ、不慣れな人に対応する時間
が生み出されることで解消でき
ると考えており、経済格差に関
しては、町がどうこうという話
ではないかもしれませんが、経
済的な余力のない場合でもデジ
タル機器が使える社会にはなっ
てきているのではないかと考え
ます。

議会を傍聴してみませんか

《次の定例会は12月中旬に開催の予定です。》

◆本会議は、役場3階の議会事務局で、傍聴人受付簿に
住所・氏名を記入するだけで傍聴できます。

傍聴定員は38人となっており、会議当日の先着順と
なっています。

※詳しい日程などは、議会ホームページをご覧になるか、
議会事務局 (TEL 21-2132) へお問い合わせください。

総務大臣表彰受賞



令和5年10月5日、町議会議長として12年以上の在職により、公正な議会運営に尽力され地方自治の発展向上に貢献された功績に対し、中井寿夫議員が、総務大臣から表彰されました。

民生教育常任委員会

先進市町村行政視察

民生教育常任委員会では、今後の委員会審査の充実を図るため、鹿児島県日置市で「小中一貫教育の取り組みについて」、佐賀県神埼市で「子育て支援について」、「健診事業について」、それぞれ研修を行いました。



議会運営委員会

先進市町村行政視察

議会運営委員会では、今後の委員会審査の充実を図るため、福島県会津坂下町、矢吹町で、「議会改革・活性化の取組について」それぞれ研修を行いました。

議会日誌

9月		10月		11月	
14～19日	第3回定例会	2日	北後志衛生施設・消防組合議会	7日	下水道条例審査特別委員会
14日	議会運営委員会	5日	議会運営委員会	9日	水道事業会計決算特別委員会
19日	議会運営委員会	10～13日	民生教育常任委員会行政視察	10日	水道事業給水条例審査特別委員会
19日	下水道条例審査特別委員会	16日	議会運営委員会	14日	民生教育常任委員会
19日	水道事業給水条例審査特別委員会	17日	総務産建常任委員会	15日	議会運営委員会
19日	水道事業会計決算特別委員会	18日	民生教育常任委員会	17日	総務産建常任委員会
29日	民生教育常任委員会				
18～20日	北後志町村議会議長会研修視察				
24～26日	議会運営委員会行政視察				
25日	北しりべし廃棄物処理広域連合議会				
27日	議会運営委員会				
30日	第5回臨時会				
30日	各会計決算特別委員会				
31日	下水道条例審査特別委員会				
31日	後志教育研修センター組合議会				

お詫びと訂正

議会だよりNo.208号(令和5年10月1日発行)、3ページ、新たな議会構成の紹介記事におきまして、大物翔(おおもつしょう)議員の氏名のふりがなに誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

編集後記

第3回定例会では地方創生臨時交付金事業、余市循環線運行費補助金、余市駅周辺の交通結節点基盤整備調査事業、道の駅再編整備事業の補正予算等を審議しました。

1年以上に及ぶロシアによるウクライナ侵攻の収束が見えない中、パレスチナ自治区ハマスとイスラエルが戦闘状態に陥りました。数世紀にわたる対立は、そこに暮らす人々の命と生活が脅かされていることを真剣に考え、日本社会としてどう対応し、どうアプローチができるか模索する努力を忘れてはなりません。一方で世界的な大災害を引き起こす原因として人間の活動による温暖化が進んでいると言われていきます。国連事務総長が「地球温暖化の時代は終わり地球沸騰化の時代が来た」と警告。道内各地でも記録的な猛暑に見舞われ、日常生活にも支障を来す状況となりました。町内でも農漁業を中心に様々な影響が出ていると伺っています。私たちの生命の営みは「食」を生産する方々の尊き尽力によってこそ成り立っています。地球は空と海でつながっています。我々に何ができるのか。行動を起こすのは今です。哲学者は言った。足下を掘れ、そこに泉あり。

総務産建常任委員会
副委員長 寺田 進